

平成 29 年 度



第 5 号

練馬区立旭丘中学校：発行 9月

感情の社会化

校長 南 俊彦

「みなさん、このプリントをやってください。できた人から丸をつけます」といった場面があったとします。A君は「一番に出すぞ！」と思いました。一番というのは意欲です。でもB君が先に出しました。A君は一番を取れなかったので「テメーぶっ殺すぞ！」と叫んでしまいました。こういった場合、往々にして「そういう言葉は言ってはいけません」という指導になります。この当たり前の指導ではその場限りです。怖い先生の前では言わないけれど、優しい先生の前では言います。一番になれなかったA君が「悔しい、一番になれなかった」と言ったら先生は叱りません。一番になれなくてA君の中に「ウワァー（不快）」という感情がわき起こっていることは変わらないのですが、言う言葉を間違えて学習しています。ウワァーと不快になると、どこで学んだのか「死ぬ」「ぶっ殺す」としか言えなくなっています。幼いときに同じ様な場面で「悔しかったね」と言われて育った子は不快な感情が流れたとき「悔しい」と言葉が使えます。中学生ぐらいになると、「死ぬ」などと言うと自分が不利になるのが分かってきて言わなくなります。しかし、表向きは言わないだけで自分の不快をどう処理したらいいか分からなく、Web上で一方的に怒りを吐きまくってしまうことがあります。最近のツイッターの炎上はこのことに関連しているかもしれません。豊かな感情を育てるためにはマイナスの感情も大切で、不快を認められて安心する経験が大切です。

感情の社会化は2～3歳児の課題ですが、中学生になっても修復可能です。心にあるもやもやした気持ちは「悔しい」ですと教えてあげ、「死ぬ」ではなく「悔しいです」とラベルを貼り替えてあげることが必要です。また体で感じているもの（ウワァーという不快）を周りが承認してあげることが大切です。人間は言葉を使うことで感情を制御できます。これができるのは人間だけです。感情を表す言葉、うれしい、楽しい、安心だ、怖い、怒っているなどいろいろありますが、学校や保護者の方の願いとしては、子供たちに豊かな感情を育てたいと願っています。その育ててほしい「豊かな感情」は、うれしいや楽しいなど前向きな感情であり、悲しい、怖い、怒るなど後ろ向きな感情ではありません。

学期の中で一番長い2学期は、職場体験、区中学校陸上競技大会、区中学校連合音楽会、文化発表会、8校合同文化発表会など、行事がたくさん予定されています。子供たちは、様々な活動の中で友達とぶつかったり、思うように周りが動いてくれなかったりと感情が揺れることがあると思います。それら（ウワァーという不快）を乗り越え、「豊かな感情」が育まれる有意義な2学期となることを願っています。

○臨海学校 1年生 8月8日(火)～11日(金)

台風の接近で出発を危ぶまれましたが、無事予定どおり下田に到着することができました。海も風は強かったのですが波も高くなく泳ぐことができました。2日目以降も天気に恵まれ、全行程を予定どおり実施することができました。



○職場体験 2年生(含D組)



9月13日(水)～15日(金)

2年生(D組も含む)は3日間職場体験に出かけました。夏休み前から取り組んできた行事です。ぜひ働くことの大変さの他に働くことの喜びも見付けてきてほしいと思います。職場体験を終えた2年生は顔つきが変わるといいます。期待しています。ご協力いただいた事業所の方々ありがとうございました。

○学校説明会 9月14日(木)

小竹小と旭丘小の6年生が5時間目の授業を見学後、体育館で児童と保護者対象の説明会を行いました。1部は生徒会役員による学校紹介、演劇部の演劇と吹奏楽部の演奏がありました。2部は保護者対象に第二多目的室で行いました。



○夏休み 部活動の記録

がんばりました!

- ★バドミントン部男子 都大会3位 関東大会出場
- ★バドミントン部女子 都大会出場
- ★ソフトテニス部男子 都大会出場
- ★ソフトテニス部女子 都大会出場
- ★吹奏楽部 都吹奏楽コンクールB組 金賞受賞
- ★野球部 桜台地区大会 優勝

体罰根絶に向けて

本校のスローガン 「冷静に対応 心は熱く」を宣言します。

Jアラートの対応について

メッセージが流れたら、直ちに以下の行動をとってください。

★ 野外にいる場合

- 近くの建物や地下街などに避難する。
- 近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る。

★ 屋内にいる場合

- できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋に移動する。
- ～行政からの指示に従って落ち着いて行動してください。～